

## ■ ■ ■ 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツドクター/ ■ ■ ■ ■ ■ ■ 公認アスレティックトレーナー資格更新研修 ■ ■ ■

以下のセッションは、日本スポーツ協会公認スポーツドクター/公認アスレティックトレーナー資格更新研修として認められております。

資格をお持ちの方は、ご自身のスポーツ指導者マイページにて更新研修受講状況をご確認のうえ、手続きをしてください。

### 【更新研修受講終了申請方法】

対象セッションを、合計4時間（240分）以上聴講してください。各セッションは、最初から最後まで聴講いただく必要があります。

### 【申込方法】

各会場前の単位受付にて「受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、「出席確認カード」を受け取ってください。「出席確認カード」に必要事項をご記入のうえ、日本スポーツ協会までメールにて送付してください。（送付期限 2025年11月3日（月））

\*その際、ネームカードのコピーを添付してください。

【送付先メールアドレス：drat-kakunin@japan-sports.or.jp】

日時	会場	セッション名	演者名	演題名
10月10日 (金)	14:50～ 16:20	第1会場  シンポジウム 2	加藤木 丈英	腰痛患者の中には、骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS)の必要な骨粗鬆症患者が多くいる！
			峯玉 賢和	当院脊椎ケアセンターにおける理学療法士の研究活動
			中田 健太	痛みセンターにおける疼痛リハビリテーションの実践と展望
			西部 涼祐	理学療法士がリードするロコモティブシンドローム—ゼロへの挑戦—
10月11日 (土)	9:10～ 10:40	第1会場  シンポジウム 4	成田 崇矢	腰痛に対する徒手理学療法
			本橋 恵美	保存療法としてのピラティス
			佐藤 紀	腰痛の術後療法におけるピラティス
			大久保 雄	腰痛に対するコアと筋間協調性（シナジー）
			森戸 剛史	地域住民の腰痛に対するモーターコントロールエクササイズ介入
10:50～ 11:50	第1会場	特別講演	山口 香	トップスポーツを支える専門家の機能と役割
			西良 浩一	アスリートの腰痛—最小侵襲手術で運動療法につなぐ—
12:00～ 13:00	第3・4会場	ランチョンセミナー7	藤谷 順三	腰痛に対するピラティス運動療法